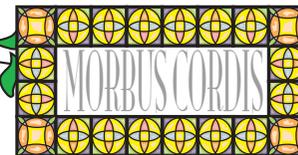




第47回滋賀県立成人病センター研究所セミナー



# 患者由来 iPS 細胞を用いた VHL 病の病態解明

京都大学医学研究科メディカルイノベーションセンター DSK プロジェクト

特定准教授 **中村 英二郎** 先生

2月28日(金) 午後5時30分～6時30分

場所：研究所会議室 (1F)

がん専門医臨床研修プログラム  
がんの生物学 (3単位)

Von-Hippel-Lindau disease (VHL 病) は常染色体優性遺伝形式をとる家族性腫瘍症候群であり、腎細胞癌、血管芽腫、褐色細胞腫、膵内分泌腫瘍を高率に発症する。VHL 遺伝子変異に起因するが同 KO マウスではヒトの表現系が全く再現されないため、患者由来 iPS 細胞を用いた新規病態モデルの構築を試みている。また、ボストンでの医学研究の合間に垣間見た米国医療の実情に関してもお示ししたい。

主催：滋賀県立成人病センター研究所

問い合わせ先：研究所事務室 (077-582-6034, 内線 8101)

世話人：木下 和生 (専門研究員) kkinoshi@res.med.shiga-pref.jp

**来聴歓迎**

